松 崎 町
高齢者保健福祉計画
介護保険事業計画

平成３０年３月

松　　崎　　町

（表紙裏）

目　次

第1部　総論 1

第1章　計画の概要 3
第1節　計画策定の趣旨 3
第2節　計画の位置付け 5
第3節　計画の期間 5

第2章　高齢者の現状と将来推計 6
第1節　人口・高齢化率の状況と推計 6
第2節　高齢者世帯の状況 7
第3節　高齢者の疾病状況 8
第4節　要支援・要介護認定者数の推計 9
第5節　介護保険サービスの利用状況と今後の見込み 11
第6節　アンケート調査 13

第3章　計画の基本的な考え方 19
第1節　計画の視点 19
第2節　基本理念 21
第3節　計画策定の体制 22
第4節　施策体系 23

第2部　各論 25

第1章　高齢者保健福祉サービス等の充実 27
第1節　生きがいづくり 27
第2節　健康づくり 29
第3節　安心・安全な環境づくり 35

第2章　介護保険対象サービスの整備 37
第1節　地域支援事業 37
第2節　介護保険サービス 42
第3節　介護保険事業費の算定 53

第3章　計画の円滑な推進 59
第1節　情報提供・相談体制の充実 59
第2節　福祉のコミュニティづくり 59
第3節　関係団体の連携 60

資料編 61

（目次裏）

第1部　総論

（白紙）

第１章　計画の概要

第1節　計画策定の趣旨

わが国は、諸外国に例を見ないスピードで高齢化が進行しており、団塊の世代が７５歳以上となる２０２５（平成３７）年以降は、国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれています。

当町においても、すでに高齢化率が４３％を超え、約４人に１人は７５歳以上となっており、全国よりも高い水準で高齢化が進行している状況です。

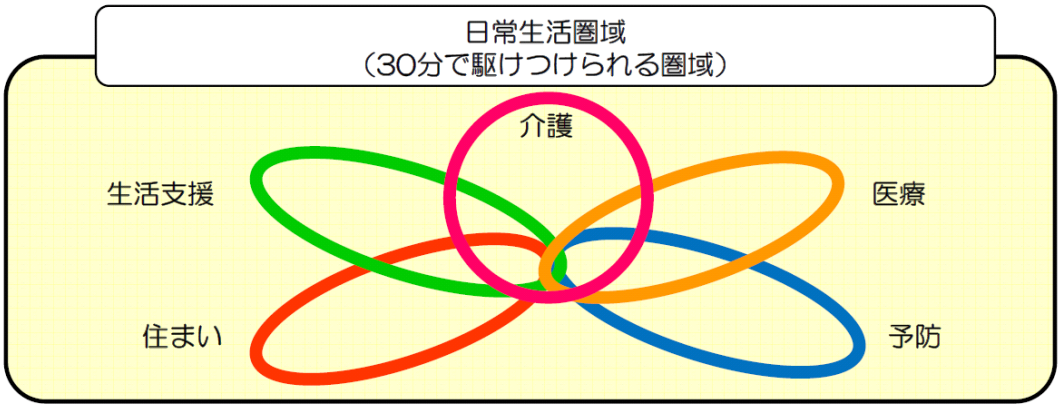
こうした中、当町では、２０１４（平成２６）年度に策定した松崎町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、介護保険事業の運営と高齢者福祉の充実を図ってきました。しかしながら、少子高齢化には歯止めがかからず、高齢者のみの世帯や高齢者単身世帯の増加など、支援を必要とする人は増加しており、地域で暮らす高齢者のニーズは多様化・複雑化してきています。

このため、前回の計画策定後の実績を評価、分析し、国が進める地域包括ケアシステム（医療、介護、予防、住まい、生活支援を包括的に提供する体制）の構築の推進を念頭に置き、計画の見直しを行います。

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の実情に応じた高齢者福祉、介護保険の体制を計画的に確保できることを目的とし、「松崎町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第７期計画）」を策定します。

1. 第7期介護保険事業計画のポイント

「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、①介護、②予防、③医療、④生活支援、⑤住まいを包括的に提供する体制の整備に取り組んでいくことが求められています。



（1）医療と介護の連携の強化等

①医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に提供される体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進。

②日常生活圏域ごとに地域ニーズや課題の把握を踏まえた介護保険事業計画を策定。

③地域の実情にあった予防給付と生活支援サービスの総合的な実施を可能とする。

(2)認知症対策の推進

①市民後見人の育成及び活用など、市町村における高齢者の権利擁護を推進。

②市町村の介護保険事業計画において地域の実情に応じた認知症支援策を盛り込む。

（3）保険者による主体的な取組の推進

①要支援者に対する介護予防・日常生活支援総合事業の充実や、ボランティア団体等による介護保険以外のサービスの充実に取り組む。

第2節　計画の位置付け

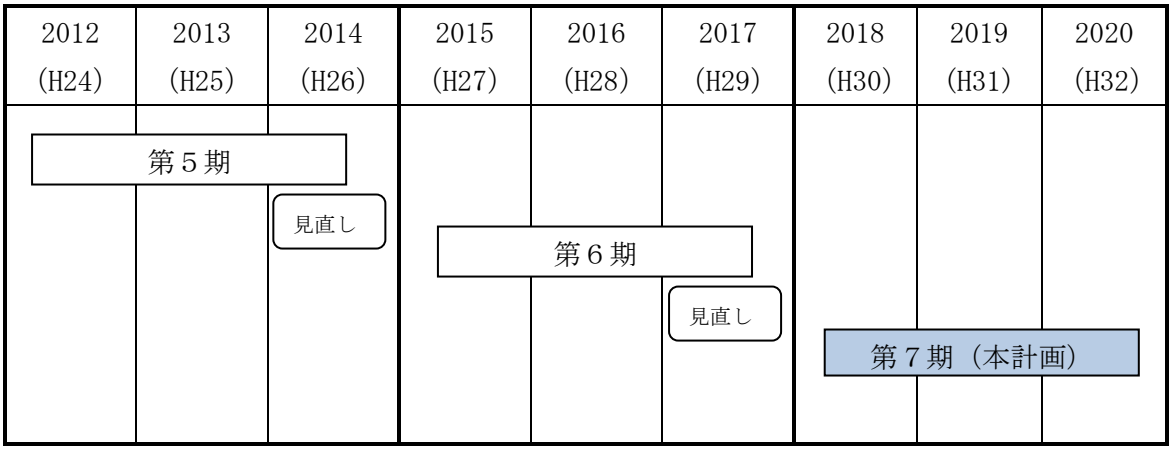
１．　この計画は、「介護保険法」第１１７条第１項に基づく「市町村介護保険事業計画」であり、松崎町の介護保険事業運営に係る保険給付の円滑な実施等に関する基本的な計画として位置付けます。

２．　この計画は老人福祉法第２０条の８第１項の規定に基づく「市町村老人福祉計画」であり、松崎町の保健施策を含めた高齢者保健福祉施策に関する基本的な計画として位置付けます。

３．　この計画は、松崎町総合計画等と整合性を持ったものとします。

第3節　計画の期間

この計画は、２０１８（平成３０）年を初年度とし、２０２０（平成３２）年度を目標年度とする３か年を計画の期間とします。



第2章　高齢者の現状と将来推計

第1節　　人口･高齢化率の状況と推計

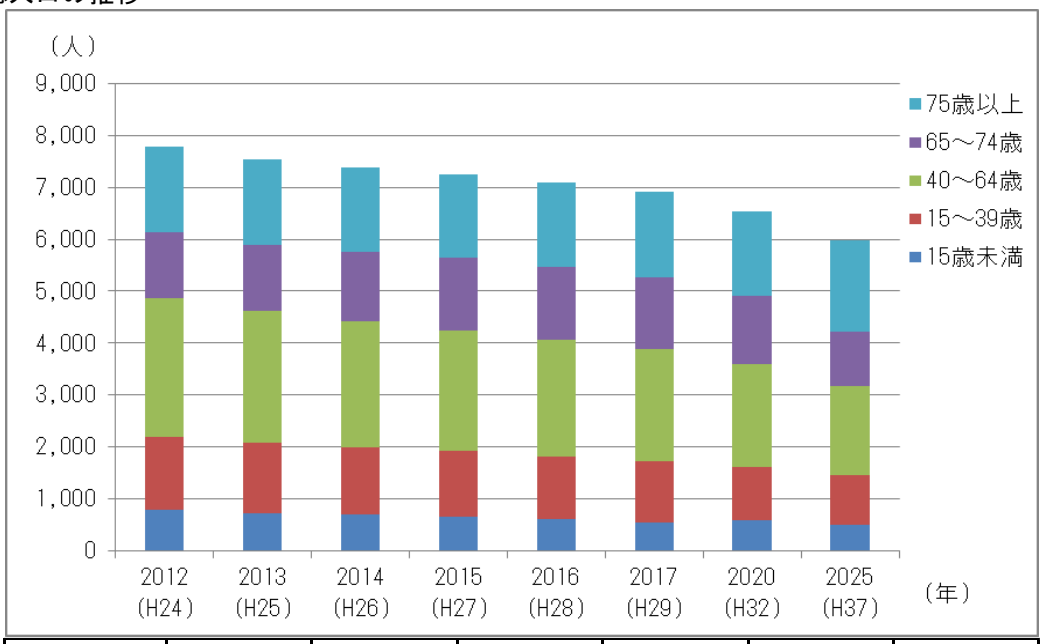
1. 総人口の推移

総人口は、年々減少し、少子高齢化が急速に進んでいます。高齢者（６５歳以上）人口は、特に７５歳以上の高齢者の数が増加傾向となっています。

高齢化率については、２０１７（平成２９）年４月現在で４３．８％となっています。

団塊の世代（２０１７（平成２９）年現在６７歳前後）が７５歳以上になる２０２５（平成３７）年には高齢化率が５０％前後となることが予想されています。また、高齢者人口は３，０００人程度から緩やかに減少していくことが予想されますが、６５～７４歳の人数が減少し、７５歳以上の人数が増加していくため、２０２０（平成３２）年には約４人に１人が７５歳以上の高齢者となる超高齢化が予想されています。

■総人口の推移



	15歳未満	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上	合計
2012(H24)	790	1,406	2,674	1,264	1,638	7,772
2013(H25)	731	1,349	2,530	1,282	1,642	7,534
2014(H26)	694	1,301	2,430	1,331	1,631	7,387
2015(H27)	652	1,267	2,326	1,388	1,610	7,243
2016(H28)	604	1,222	2,242	1,409	1,617	7,094
2017(H29)	558	1,163	2,172	1,370	1,658	6,921
2020(H32)	583	1,035	1,968	1,314	1,643	6,543
2025(H37)	507	956	1,711	1,052	1,759	5,985

資 料:平成 24 年～平成 29 年住民基本台帳(外国人登録人口含む)(各年4月 1 日現在)
平成 32 年、平成 37 年　人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成 25 年 3 月推計)

第2節　高齢者世帯の状況

高齢者のいる世帯は、２０１７（平成２９）年には２，０１９世帯となっており、一般世帯数に占める割合は、６７．３％となっています。

高齢者単身世帯は、２０１７（平成２９）年には６３８世帯で、２００５（平成１７）年の３４８世帯と比べ、約２倍となっています。

■高齢者世帯の状況

高齢者世帯の状況		2005(H17)年		2010(H22)年		2015(H27)年	
		世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比
松崎町	一般世帯	2,984		3,016		2,830	
	高齢者のいる世帯	1,844	61.8%	1,926	63.9%	1,938	68.5%
	高齢者単身世帯	348	11.7%	468	15.5%	534	18.9%
	高齢者夫婦世帯	454	15.2%	509	16.9%	542	19.2%
静岡県	一般世帯	1,346,952		1,397,173		1,427,443	
	高齢者のいる世帯	517,530	38.4%	583,403	41.8%	633,446	44.4%
	高齢者単身世帯	82,716	6.1%	106,279	7.6%	139,446	9.8%
	高齢者夫婦世帯	113,426	8.4%	138,565	9.9%	166,476	11.7%

資料:国勢調査

第3節　高齢者の疾病状況

高齢者の疾病状況は、「循環器系の疾患」が最も多くなっており、次いで「消化器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」となっています。２０１３（平成２５）年から２０１５（平成２７）年にかけては、「内分泌、栄養及び代謝疾患」が増加傾向となっています。

■高齢者の疾病状況

（件）

	２０１５ （H27）	２０１６ （H28）	２０１７ （H29）
感染症及び寄生虫症	１５	１２	９
新生物（がん）	４５	４４	５９
内分泌、栄養及び代謝疾患（糖尿病・甲状腺障害等）	１０５	１１２	１３６
精神及び行動の障害	２８	３２	４０
神経系の疾患	２８	３９	４８
眼及び付属器の疾患	７８	１０６	８８
耳及び乳様突起の疾患	８	９	６
循環器系の疾患(心臓病・脳卒中・高血圧等)	３９６	４１９	４１３
呼吸器系の疾患	５３	５４	５３
消化器系の疾患(食道・胃・腸等の病気)	２５２	２０７	２５４
皮膚及び皮下組織の疾患	２２	１６	２３
筋骨格系及び結合組織の疾患（リュウマチ・関節炎等）	１２０	１２０	１１２
腎尿路生殖器系の疾患	２９	３７	２９
症状・徴候及び検査で他に分類されないもの	１８	１１	１５
損傷、中毒及びその他の外因の影響	４６	４３	４３
その他（血液の疾患並びに免疫構造の障害など）	２	２	１
【　合　計　】	1,245	1,263	1,329

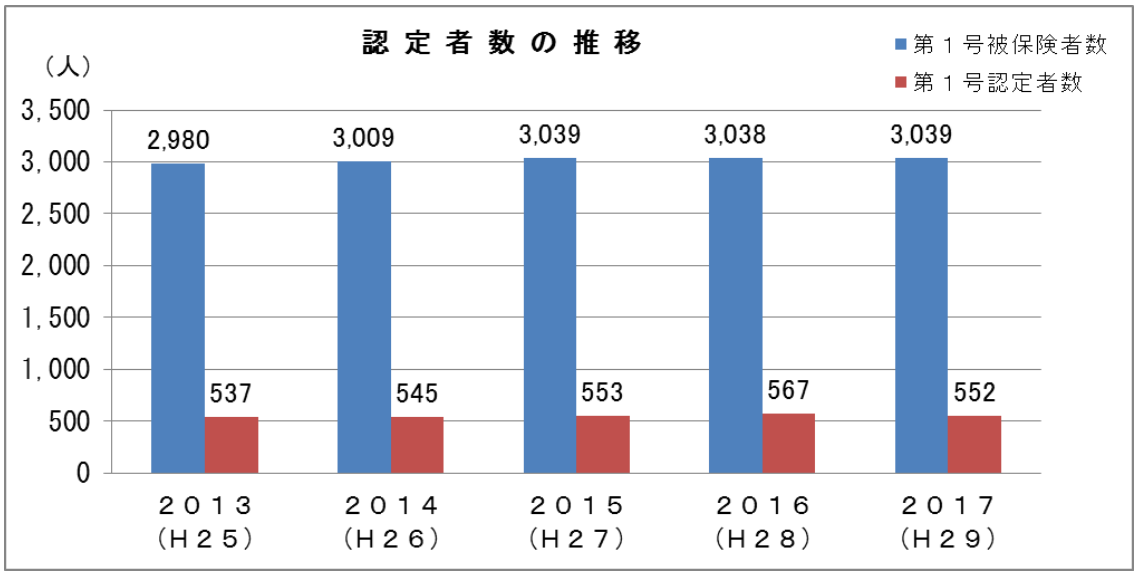
資料：国保年齢階級別疾病分類表（各年5月利用分）

第4節　要支援･要介護認定者数の推計

1. 要支援･要介護認定者数と認定率の推移

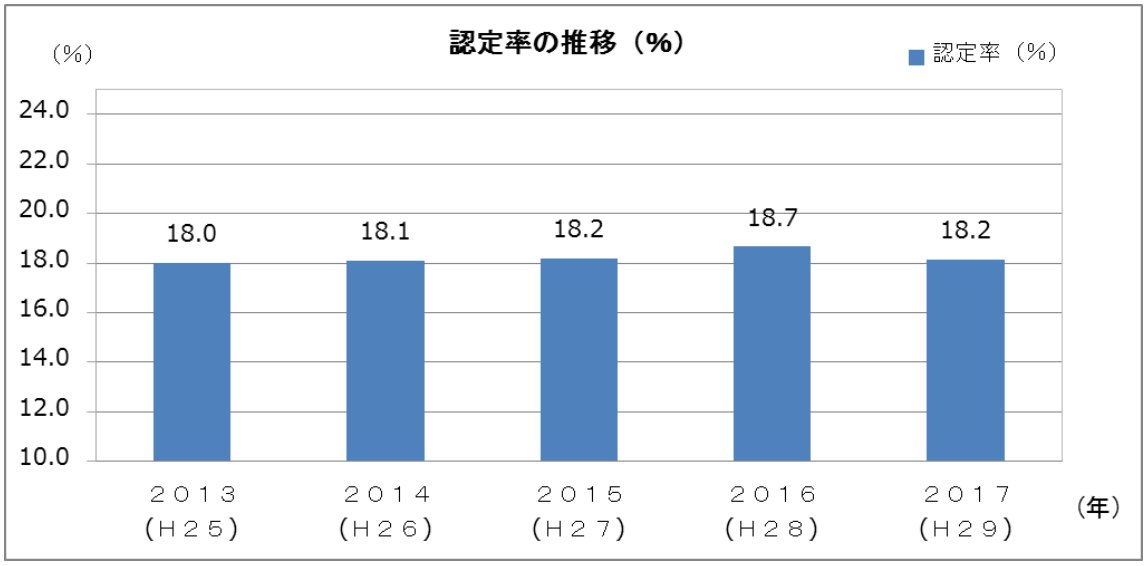
要支援・要介護認定者数は、被保険者数の増加にあわせて若干増加しています。認定率は、ここ５年間は１８％前後で推移しています。

■要支援・要介護認定者数の推移



資料：介護保険事業状況報告（各年3月分、平成 29 年は 10 月分）

■認定率の推移（被保険者に占める認定者の割合）

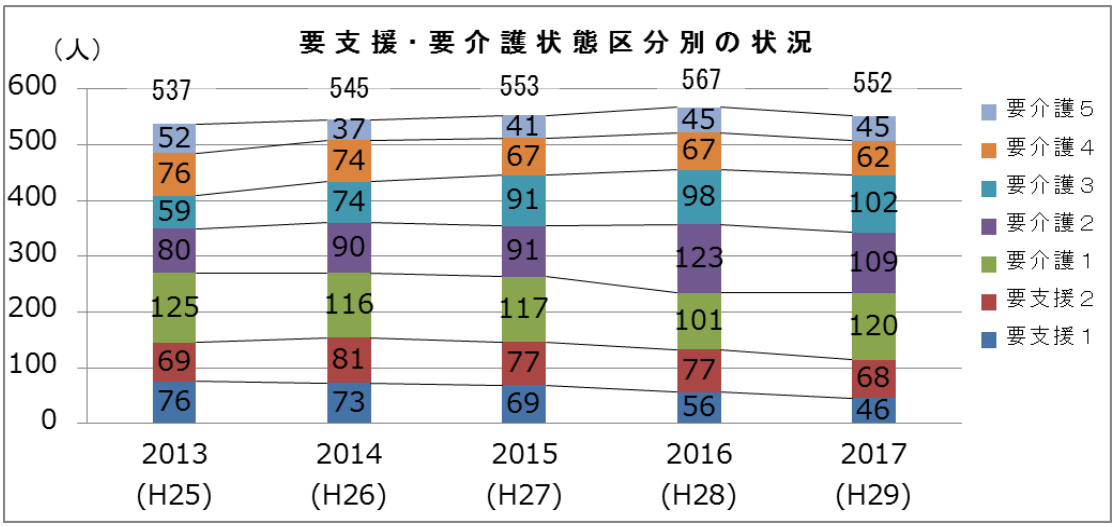


資料：介護保険事業状況報告（各年3月分、平成 29 年は 10 月分）

2. 要支援･要介護認定者の状況

要支援・要介護状態の区分別では、ここ５年間で要支援１・要支援２は減少傾向ですが、要介護２・要介護３の認定者数が増加しています。

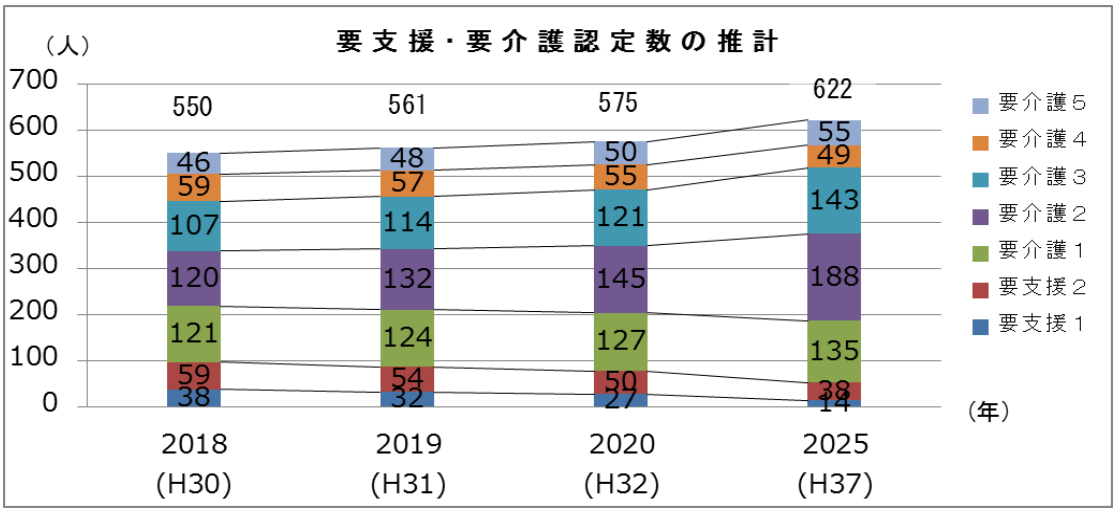
■要支援・要介護状態区分別の状況



資料：介護保険事業状況報告（各年度10月分）

3. 要支援･要介護認定数の推計

第１号被保険者が緩やかに減少していくことに伴い、認定者数も現在をピークに緩やかに減少に転じていくと考えられます。

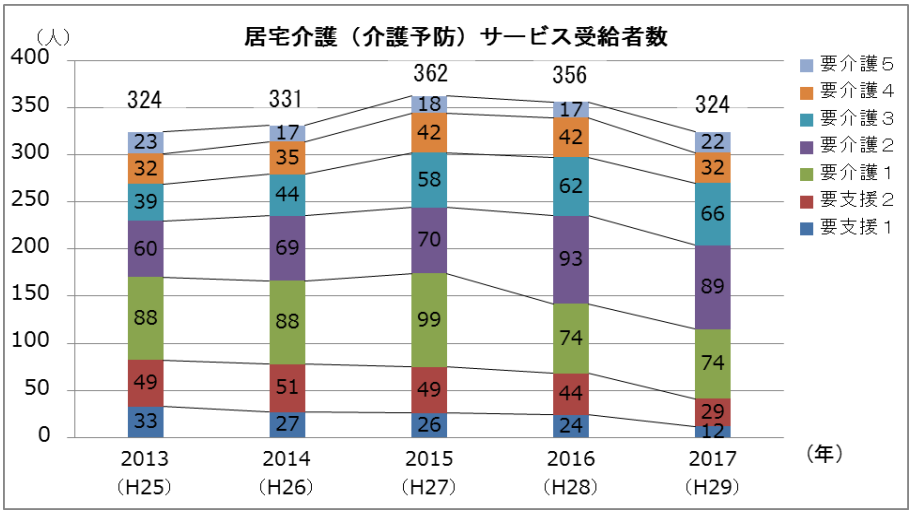


※ 介護保険料算定に使用した生存率を利用した推計値

第5節　介護保険サービスの利用状況と今後の見込み

1. 居宅介護サービス受給者数

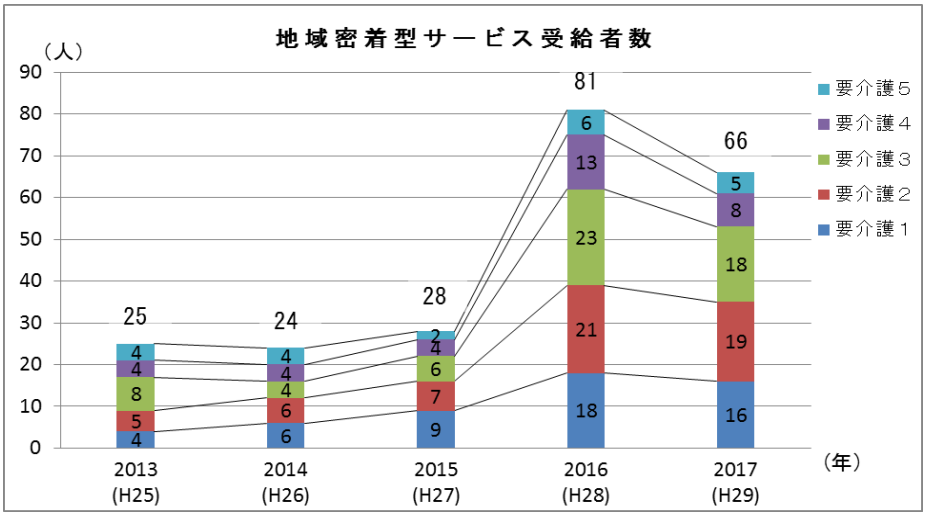
居宅介護サービス受給者数は、認定者数の増減に合わせてほぼ横ばいで推移しています。認定者の状況の傾向と同様に、要介護２・要介護３の居宅介護サービス受給者数がここ５年で増加傾向にあります。施設の定員の関係もあり、今後も在宅介護の利用者は増加していくことが考えられます。



資料：介護保険事業状況報告（各年度 10 月分）

2. 地域密着型サービス受給者数

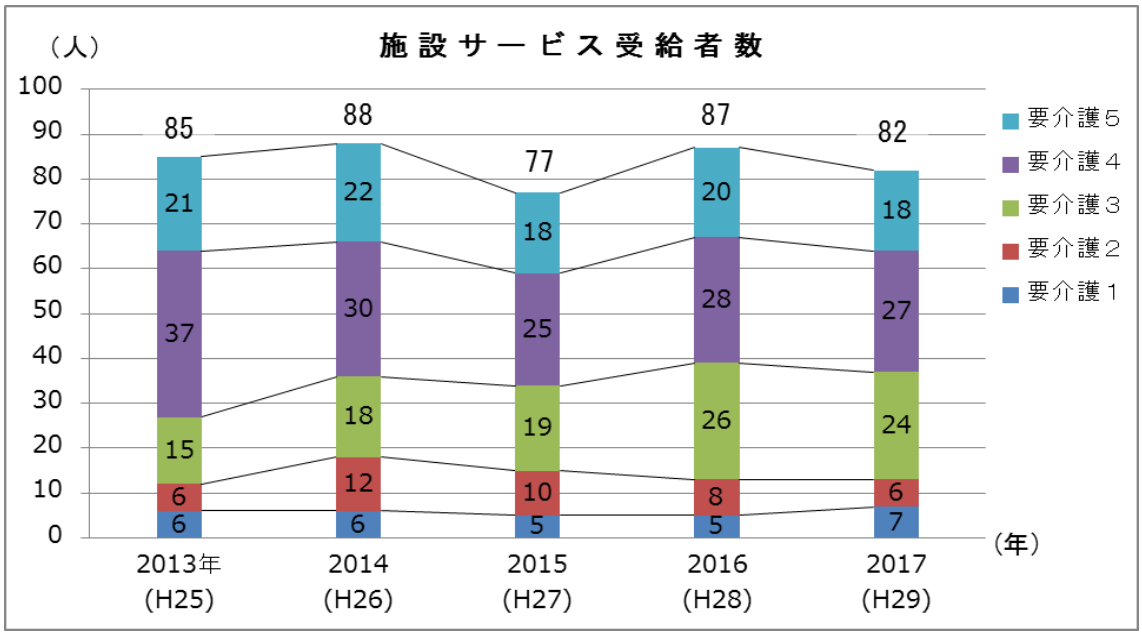
地域密着型サービス受給者数は、２０１６（平成２８）年４月に利用定員１８人以下の小規模通所介護事業所が地域密着型サービスに移行した関係で新しい事業所が増え、受給者数が増加しています。認知症対応に特化したサービスもあり、今後もサービス利用者は増加していくと考えられます。



資料：介護保険事業状況報告（各年度3月分、平成29年は10月分）

3. 施設介護サービス受給者数

ここ５年間、施設介護サービス受給者数は８０名前後で推移しており、ほぼ横ばいの状況となっています。介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）は、平成２７年４月以降、新規入所は原則要介護３以上となっています。施設の入所定員には限りがあるため、今後もほぼ横ばいで推移していくと考えられます。



資料：介護保険事業状況報告（各年度10月分）

第6節　アンケート調査

1. アンケート調査の概要

計画策定に先立ち、今後の介護保険事業、高齢者保健福祉施策を推進していくために、アンケート調査により高齢者の方々の生活実態や保健福祉サービスの利用意向等についての現状をたずね、町民の意識や今後のニーズなどを把握しました。

(1)調査設計

調査地域　：松崎町全域

調査対象　：①６５歳以上の一般高齢者（回答数１３７件）

　　：②要支援・要介護認定者（回答数７５件）

調査時期　：２０１７（平成２９）年４月

(2)見方

・複数回答に関しては、１人の回答者が複数の選択肢に回答することができる質問であるため、すべての回答比率を合計すると１００．０％を超える場合があります。

2. アンケート調査の結果

(1)健康について

現在の健康状態は、「まあよい」が６９．３％と最も多くなっている一方、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』が１７．５％と２割程度あります。

自分の健康のために心がけていることは、「食事に気をつける」が６１．３％と最も多く、次いで「休養や睡眠を十分にとる」が５２．６％となっています。

また、健康について知りたいことは、「認知症の予防」が４２．３％と最も多く、次いで「がんや生活習慣病にならないための工夫」が３１．４％、「望ましい食生活」が２９．９％となっています。

■現在の健康状態 【一般高齢者】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
とてもよい	3	6.8%	2	7.7%	6	17.6%	1	5.6%	2	13.3%	14	10.2%
まあよい	33	75.0%	22	84.6%	21	61.8%	11	61.1%	8	53.3%	95	69.3%
あまりよくない	5	11.4%	1	3.8%	6	17.6%	3	16.7%	5	33.3%	20	14.6%
よくない	1	2.3%	1	3.8%	1	2.9%	1	5.6%	0	0.0%	4	2.9%
無回答	2	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	11.1%	0	0.0%	4	2.9%
計	44		26		34		18		15		137	

■自分の健康のために心がけていること 【一般高齢者】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
休養や睡眠を十分にとる	15	34.1%	14	53.8%	24	70.6%	10	55.6%	9	60.0%	72	52.6%
食事に気をつける	24	54.5%	17	65.4%	22	64.7%	14	77.8%	7	46.7%	84	61.3%
歯や口の中を清潔に保つ	15	34.1%	4	15.4%	11	32.4%	6	33.3%	1	6.7%	37	27.0%
健康診断などを定期的に受ける	18	40.9%	9	34.6%	7	20.6%	3	16.7%	4	26.7%	41	29.9%
酒、タバコを控える	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
散歩やスポーツをする	10	22.7%	7	26.9%	7	20.6%	2	11.1%	1	6.7%	27	19.7%
地域の活動に参加する	5	11.4%	1	3.8%	3	8.8%	0	0.0%	0	0.0%	9	6.6%
教養や学習活動などの楽しみを持つ	3	6.8%	0	0.0%	1	2.9%	1	5.6%	1	6.7%	6	4.4%
気持ちをなるべく明るく持つ	9	20.5%	7	26.9%	4	11.8%	5	27.8%	4	26.7%	29	21.2%
身の回りのことはなるべく自分で行う	9	20.5%	6	23.1%	15	44.1%	7	38.9%	6	40.0%	43	31.4%
仕事をする	16	36.4%	6	23.1%	9	26.5%	3	16.7%	4	26.7%	38	27.7%
その他	0	0.0%	2	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.5%
特に心がけていない	2	4.5%	1	3.8%	2	5.9%	1	5.6%	0	0.0%	6	4.4%
無回答	2	4.5%	1	3.8%	0	0.0%	1	5.6%	3	20.0%	7	5.1%
計	128		75		106		53		40		402	

■健康について知りたいこと 【一般高齢者】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
がんや生活習慣病にならないための工夫	14	31.80%	7	26.90%	13	38.20%	5	27.80%	4	26.70%	43	31.4%
望ましい食生活	11	25.00%	5	19.20%	17	50.00%	6	33.30%	2	13.30%	41	29.9%
運動の方法	8	18.20%	7	26.90%	6	17.60%	4	22.20%	2	13.30%	27	19.7%
健康診断・各種健診の内容や受け方	4	9.10%	2	7.70%	5	14.70%	3	16.70%	1	6.70%	15	10.9%
寝たきりや介護の予防	8	18.20%	5	19.20%	8	23.50%	4	22.20%	5	33.30%	30	21.9%
歯の健康	5	11.40%	3	11.50%	4	11.80%	1	5.60%	2	13.30%	15	10.9%
認知症の予防	17	38.60%	13	50.00%	14	41.20%	9	50.00%	5	33.30%	58	42.3%
うつ病の予防	4	9.10%	2	7.70%	3	8.80%	4	22.20%	0	0.00%	13	9.5%
その他	2	4.50%	2	7.70%	0	0.00%	1	5.60%	0	0.00%	5	3.6%
無回答	6	13.60%	2	7.70%	5	14.70%	1	5.60%	5	33.30%	19	13.9%
計	79		48		75		38		26		266	

(2)生きがい・地域活動への参加について

生きがいを感じるのはどのような時かについては、「仕事をしているとき」が５４．７％で最も多く、次いで「友人や知人と過ごすとき」が５１．１％、「おいしいものを食べているとき」が４１．６％となっています。

１年間の地域活動の参加状況は、「趣味関係のグループ」が２４．８％と最も多く、次いで「ボランティア」が２１．９％となっています。

さらに、住民有志のグループ活動による地域活性化への参加については、参加者としては５５．４％、運営としては２９．９％が「参加してもよい」と考えています。

■生きがいを感じるのはどのような時か 【一般高齢者】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
仕事をしているとき	26	59.1%	15	57.7%	20	58.8%	7	38.9%	7	46.7%	75	54.7%
教養を身につけることをしているとき	6	13.6%	2	7.7%	4	11.8%	2	11.1%	2	13.3%	16	11.7%
健康づくりやスポーツをしているとき	5	11.4%	4	15.4%	6	17.6%	1	5.6%	0	0.0%	16	11.7%
家族との団らんのとき	20	45.5%	8	30.8%	15	44.1%	6	33.3%	3	20.0%	52	38.0%
友人や知人と過ごすとき	20	45.5%	14	53.8%	18	52.9%	12	66.7%	6	40.0%	70	51.1%
老人クラブ活動をしているとき	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%	4	22.2%	0	0.0%	5	3.6%
地域活動に参加しているとき	6	13.6%	2	7.7%	4	11.8%	0	0.0%	3	20.0%	15	10.9%
旅行に行っているとき	15	34.1%	8	30.8%	12	35.3%	3	16.7%	1	6.7%	39	28.5%
散歩、買い物をしているとき	7	15.9%	6	23.1%	10	29.4%	6	33.3%	3	20.0%	32	23.4%
テレビを見たり、ラジオを聞いているとき	15	34.1%	5	19.2%	17	50.0%	8	44.4%	10	66.7%	55	40.1%
パソコン、インターネットをしているとき	3	6.8%	2	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	3.6%
他人から感謝されたとき	14	31.8%	3	11.5%	10	29.4%	4	22.2%	4	26.7%	35	25.5%
収入があったとき	13	29.5%	3	11.5%	8	23.5%	4	22.2%	2	13.3%	30	21.9%
おいしいものを食べているとき	19	43.2%	8	30.8%	17	50.0%	6	33.3%	7	46.7%	57	41.6%
若い世代と交流しているとき	3	6.8%	3	11.5%	3	8.8%	5	27.8%	2	13.3%	16	11.7%
その他	2	4.5%	0	0.0%	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.2%
特にない	1	2.3%	1	3.8%	1	2.9%	1	5.6%	1	6.7%	5	3.6%
無回答	4	9.1%	1	3.8%	0	0.0%	1	5.6%	3	20.0%	9	6.6%
計	179		85		147		70		54		535	

■この1年間の地域活動の参加状況 【一般高齢者】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ボランティア	8	18.2%	6	23.1%	10	29.4%	5	27.8%	1	6.7%	30	21.9%
スポーツ関係のグループ	8	18.2%	11	42.3%	5	14.7%	2	11.1%	1	6.7%	27	19.7%
趣味関係のグループ	12	27.3%	8	30.8%	6	17.6%	6	33.3%	2	13.3%	34	24.8%
学習・教養サークル	5	11.4%	4	15.4%	3	8.8%	1	5.6%	1	6.7%	14	10.2%
計	33		29		24		14		5		105	

■住民有志のグループ活動による地域活性化への参加（参加者として）【一般高齢者】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
是非参加したい	9	20.5%	6	23.1%	3	8.8%	2	11.1%	1	6.7%	21	15.3%
参加してもよい	21	47.7%	8	30.8%	16	47.1%	8	44.4%	2	13.3%	55	40.1%
参加したくない	13	29.5%	12	46.2%	13	38.2%	8	44.4%	10	66.7%	56	40.9%
無回答	1	2.3%	0	0.0%	2	5.9%	0	0.0%	2	13.3%	5	3.6%
計	44		26		34		18		15		137	

■住民有志のグループ活動による地域活性化への参加（運営として）【一般高齢者】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
是非参加したい	2	4.5%	3	11.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	6	4.4%
参加してもよい	13	29.5%	5	19.2%	12	35.3%	2	11.1%	3	20.0%	35	25.5%
参加したくない	27	61.4%	18	69.2%	20	58.8%	14	77.8%	10	66.7%	89	65.0%
無回答	2	4.5%	0	0.0%	2	5.9%	2	11.1%	1	6.7%	7	5.1%
計	44		26		34		18		15		137	

(3)現在のくらしの経済的な状況について

現在の暮らしの経済的な状況については、一般高齢者で「ふつう」が６４．２％、要支援認定者で、「普通」が７６．９％と最も多くなっていますが、一方で、一般高齢者では、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせると２４．１％と全体の約４分の１を占め、要支援認定者も「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせると１９．２％と全体の約５分の１を占めています。

■現在の生活 【一般高齢者】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
大変苦しい	2	4.5%	1	3.8%	2	5.9%	0	0.0%	1	6.7%	6	4.4%
やや苦しい	9	20.5%	5	19.2%	7	20.6%	4	22.2%	2	13.3%	27	19.7%
ふつう	29	65.9%	19	73.1%	20	58.8%	11	61.1%	9	60.0%	88	64.2%
ややゆとりがある	1	2.3%	1	3.8%	4	11.8%	0	0.0%	2	13.3%	8	5.8%
大変ゆとりがある	1	2.3%	0	0.0%	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.5%
無回答	2	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	3	16.7%	1	6.7%	6	4.4%
計	44	100.0%	26	100.0%	34	100.0%	18	100.0%	15	100.0%	137	100.0%

■現在の生活 【要支援認定者】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
大変苦しい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	2	12.5%	3	11.5%
やや苦しい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	1	6.3%	2	7.7%
ふつう	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	4	66.7%	13	81.3%	20	76.9%
ややゆとりがある	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%
大変ゆとりがある	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	0		1		3		6		16		26	

(4)助け合いについて

「心配事や愚痴を聞いてくれる」では「友人」が５３．３％と最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「配偶者」の順となっています。また、「反対に心配事や愚痴を聞いてあげている人がいる」も、「友人」が４６．７％と最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の順となっています。

また、「病気等で寝込んだ場合、看病してくれる人、反対にしてあげる人では、どちらも「配偶者」が圧倒的に多くなっています。

■心配事や愚痴を聞いてくれる人がいる【一般高齢者】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
配偶者	23	52.3%	13	50.0%	15	44.1%	8	44.4%	1	6.7%	60	43.8%
同居の子ども	10	22.7%	7	26.9%	6	17.6%	3	16.7%	3	20.0%	29	21.2%
別居の子ども	12	27.3%	4	15.4%	16	47.1%	5	27.8%	6	40.0%	43	31.4%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	25	56.8%	10	38.5%	12	35.3%	8	44.4%	7	46.7%	62	45.3%
近隣	11	25.0%	6	23.1%	8	23.5%	3	16.7%	3	20.0%	31	22.6%
友人	33	75.0%	14	53.8%	16	47.1%	7	38.9%	3	20.0%	73	53.3%
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%	1	5.6%	2	13.3%	4	2.9%
そのような人はいない	2	4.5%	1	3.8%	1	2.9%	1	5.6%	0	0.0%	5	3.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	116		55		75		36		25		307	

■反対に心配事や愚痴を聞いてあげている人がいる【一般高齢者】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
配偶者	21	47.7%	13	50.0%	13	38.2%	4	22.2%	1	6.7%	52	38.0%
同居の子ども	9	20.5%	6	23.1%	4	11.8%	3	16.7%	4	26.7%	26	19.0%
別居の子ども	15	34.1%	4	15.4%	12	35.3%	4	22.2%	5	33.3%	40	29.2%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	23	52.3%	12	46.2%	10	29.4%	8	44.4%	6	40.0%	59	43.1%
近隣	18	40.9%	9	34.6%	9	26.5%	5	27.8%	3	20.0%	44	32.1%
友人	29	65.9%	11	42.3%	16	47.1%	4	22.2%	4	26.7%	64	46.7%
その他	0	0.0%	4	15.4%	2	5.9%	0	0.0%	1	6.7%	7	5.1%
そのような人はいない	1	2.3%	0	0.0%	4	11.8%	2	11.1%	1	6.7%	8	5.8%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	116		59		70		30		25		300	

■数日、寝込んだ時に世話や看病をしてくれる人がいる【一般高齢者】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
配偶者	24	54.5%	15	57.7%	17	50.0%	7	38.9%	1	6.7%	64	46.7%
同居の子ども	11	25.0%	9	34.6%	9	26.5%	5	27.8%	5	33.3%	39	28.5%
別居の子ども	13	29.5%	5	19.2%	10	29.4%	7	38.9%	4	26.7%	39	28.5%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	10	22.7%	7	26.9%	4	11.8%	6	33.3%	4	26.7%	31	22.6%
近隣	3	6.8%	1	3.8%	0	0.0%	2	11.1%	1	6.7%	7	5.1%
友人	10	22.7%	2	7.7%	2	5.9%	1	5.6%	2	13.3%	17	12.4%
その他	1	2.3%	0	0.0%	2	5.9%	1	5.6%	3	20.0%	7	5.1%
そのような人はいない	2	4.5%	1	3.8%	5	14.7%	0	0.0%	1	6.7%	9	6.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	74		40		49		29		21		213	

■反対に、世話や看病をしてあげている人がいる【一般高齢者】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
配偶者	24	54.5%	17	65.4%	17	50.0%	8	44.4%	1	6.7%	67	48.9%
同居の子ども	13	29.5%	8	30.8%	6	17.6%	3	16.7%	1	6.7%	31	22.6%
別居の子ども	14	31.8%	7	26.9%	6	17.6%	4	22.2%	2	13.3%	33	24.1%
兄弟姉妹・親戚・親・孫	20	45.5%	8	30.8%	7	20.6%	5	27.8%	1	6.7%	41	29.9%
近隣	6	13.6%	2	7.7%	1	2.9%	1	5.6%	2	13.3%	12	8.8%
友人	11	25.0%	3	11.5%	4	11.8%	1	5.6%	0	0.0%	19	13.9%
その他	0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	1	5.6%	0	0.0%	2	1.5%
そのような人はいない	3	6.8%	1	3.8%	4	11.8%	2	11.1%	8	53.3%	18	13.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	91		47		45		25		15		223	

(5)介護者について

実際に介護を行っている介護者の年齢では「６０代」が３１．６％と最も多く、次いで「５０歳代」が２３．７％、「８０歳以上」が２１．１％となっており、介護者も高齢者という状況となっています。

また、介護者の勤務形態をみると「働いていない」が６０．５％と最も多くなっています。

介護者の離職については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が３０．６％で最も多くなっていますが、一方で「主な介護者が仕事を辞めた」が８．２％となっており、介護者の深刻な状況がうかがえます。

■主な介護者の年齢　【要介護認定者】

	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
20歳未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
40代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
50代	3	50.0%	4	26.7%	0	0.0%	1	16.7%	1	50.0%	9	23.7%
60代	2	33.3%	6	40.0%	1	14.3%	2	33.3%	1	50.0%	12	31.6%
70代	0	0.0%	2	13.3%	4	57.1%	1	16.7%	0	0.0%	7	18.4%
80歳以上	1	16.7%	2	13.3%	1	14.3%	2	33.3%	0	0.0%	8	21.1%
わからない	0	0.0%	1	6.7%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	6		15		7		6		2		38	

■介護者の勤務形態 【要介護認定者】

	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
フルタイムで働いている	3	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	4	10.5%
パートタイムで働いている	0	0.0%	2	13.3%	1	14.3%	1	16.7%	1	50.0%	5	13.2%
働いていない	1	16.7%	12	80.0%	4	57.1%	3	50.0%	1	50.0%	23	60.5%
主な介護者に確認しないと、わからない	0	0.0%	1	6.7%	1	14.3%	1	16.7%	0	0.0%	3	7.9%
無回答	2	33.3%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.9%
計	6		15		7		6		2		38	

■介護者の離職について 【要介護認定者】

	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
主な介護者が仕事を辞めた	0	0.0%	2	10.5%	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%	4	8.2%
主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	1	2.0%
主な介護者が転職した	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
主な介護者以外の家族・親族が転職した	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%
介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	1	10.0%	1	5.3%	6	75.0%	3	37.5%	2	100.0%	15	30.6%
わからない	1	10.0%	10	57.9%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	12	26.5%
無回答	2	20.0%	2	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	10.2%
計	5		15		7		6		2		38	

第3章　計画の基本的な考え方

第1節　　計画の視点

1. 健康づくりと介護予防の推進

高齢者が、いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域の特色を活かしたサービスとリハビリテーションの充実に努め、介護予防や疾病の一次予防を積極的に推進します。

そのためには、元気な高齢者、虚弱高齢者、要支援者に至るまで、一貫した連続性のある健康づくりと介護予防を進める必要があり、地域包括支援センターを中心として、高齢者一人ひとりが総合的、継続的なマネジメントに取り組みます。

2. サービスの基盤整備

多様なサービス提供ができるように基盤整備を行い、利用者のニーズや町の特徴を踏まえた適切なサービス提供を図ります。特に高齢者が慣れ親しんだ家庭で生活を続けていくために必要なサービスについて、保健・医療・福祉の連携のもと、迅速かつ効果的、効率的なサービス展開を図ります。

また、介護保険サービスの提供の要であるケアマネジャーの資質の向上や、事業者に対する指導、監督などに努めます。

3. 地域住民の相互援助による高齢者福祉の推進

地域住民の相互援助による高齢者福祉を推進するため、地区組織やボランティア、元気な高齢者など地域住民の積極的な参加を促し、地域における介護サービス以外の様々な活動の支援に努めます。

また、近年失われてつつある向こう三軒両隣りの大切さをＰＲし、地域福祉の向上に努めます。

4. 認知症高齢者支援対策の推進

今後、増加することが見込まれる認知症高齢者とその家族が安心して社会生活を営むためには、医療・福祉等の専門家の支援と認知症に対する正しい住民の理解が必要となります。認知症の中には、回復可能なものもあることから、医療関係との連携により早期発見と早期治療に努めます。

また、判断能力の不十分な認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるために、「成年後見人制度」の活用と「日常生活自立支援事業」の充実を図ります。

5. 個人の尊厳

住民の一人ひとりが個人として尊重され、健康で生きがいを持った暮らしができることを第一に考えます。高齢者においても、住み慣れた地域で安心して自立した日常生活を送ることを尊重します。高齢者を取り巻く環境は、核家族化の進行や少子化、女性の社会進出などによる介護力の低下などを受け、不安定さを増しています。このような中、各種サービスの提供にあたっても、状況に応じた自己選択・自己決定を尊重するものとします。

6. 生きがいのある生活の創造

高齢者の多くは、介護サービスを必要とせず、豊かな経験と知識を持ち健康に暮らしています。明るく活力ある社会を実現するためには、高齢者が積極的に社会活動に参加することが求められています。

そのため、子どもたちとのふれあい、趣味やボランティア活動、地域活動等社会活動参加の機会などを増やすとともに、地域活動に関する情報提供、就労への支援等を進めます。

第2節　基本理念

基本理念1 “互いに支え合うまち”を目指して

介護保険制度の目的でもある介護を社会全体で支えていくためには、地域に住む住民一人ひとりの理解と協力が不可欠になります。そのため、地域組織だけでなくボランティア、民間企業、医療、行政等が緊密な連携のもとに高齢者の様々な不安を取り除き、互いに支え合って暮らせるまちを目指します。

基本理念2 “安心して暮らせるまち”を目指して

いつまでも健康で暮らせることは、老後の生活を充実させる大きな柱となります。そのため、健康増進、寝たきり予防、疾病予防、認知症予防に努めます。

また、介護が必要な状態にある方については、できる限り住み慣れた場所で安心して暮らせるよう在宅介護サービス及び介護者への支援の充実を図ります。

基本理念3 “自分らしい生き方ができるまち”を目指して

これからの高齢化社会は、健康面だけではなく、精神面においても充実した社会の実現が必要です。そのため、各々の高齢者が生きがいを持ち、輝かしい笑顔に満ちた自分らしい生き方ができるよう、様々な選択肢の中から主体的に生き方を選択できる環境づくりを進めます。

第3節　計画策定の体制

1. 保健･医療･福祉の連携の強化

保健・医療・福祉の関係期間との連携を密にし、要援護高齢者に対する総合的なサービスの提供体制を充実します。

2. 松崎町地域包括支援センター運営協議会

松崎町地域包括支援センターの運営状況、人員配置等について検討し、円滑な事業運営がなされるよう、松崎町地域包括支援センター運営協議会を開催します。

3. 介護保険事業計画作成委員会

「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」策定後も随時事業等について検討し、スムーズな計画推進ができるように努めていきます。

介護保険事業計画作成委員会メンバー

町議会議員代表、医師代表、社会福祉協議会会長、民生児童委員協議会会長、区長会代表、老人クラブ連合会会長、福祉施設代表、校長会代表、保育園園長、手をつなぐ育成会会長、賀茂健康福祉センター　等

第4節　施策体系

高齢者保健福祉サービス等の充実	1．生きがいづくり	（1）活動の場と生きがいづくり
	2．健康づくり	（1）保健サービス
		（2）健康増進
		（3）生活支援サービス
	3．安心・安全な環境づくり	（1）権利擁護の推進
		（2）安全対策の推進
介護保険対象サービスの整備	1．地域支援事業	（1）介護予防・日常生活支援総合事業
		（2）包括的支援事業
		（3）任意事業
	2．介護保険サービス	（1）居宅サービス
		（2）地域密着型サービス
		（3）施設サービス
	3．介護保険事業費の算定	（1）介護保険財源の仕組み
		（2）給付費の推計
		（3）介護保険料の算出
		（4）介護保険料の設定
計画の円滑な推進	情報提供・相談体制の充実	（1）介護保険やサービス等に関する情報提供
		（2）相談援助体制の充実
高齢者の生きがい・生活環境づくり	福祉のコミュニティづくり	（1）地域リハビリテーションの推進
		（2）介護人材の確保及び資質の向上
	関係団体の連携	（1）関係団体の連携

（白紙）

第2部　各論

（白紙）

第1章　高齢者保健福祉サービス等の充実

第1節　　生きがいづくり

高齢者が生きがいを持ち、いきいきと充実した生活を送り、社会の一員として社会に積極的にかかわり、社会に役立ち支えているという意識をもつことができるよう、高齢者の活動の場をつくることを推進します。

1. 活動の場と生きがいづくり

(1)生涯学習・スポーツの推進

概　要	スポーツやレクリエーションの実施により、高齢者の新たな活動の場を設けることができるよう、生涯学習を推進します。
課題と方向性	高齢者が気軽に生涯学習に参加できるよう、生涯学習に関する事業やサークル・グループ活動の情報提供を行い、学習環境を整備していきます。また、生涯学習を通じて、世代間の交流ができるよう、活動内容の充実を図ります。

(2)老人クラブ活動の推進

概　要	松崎町老人クラブでは、寿大学や老人福祉大会を実施し、高齢者が生きがいをもてるよう、生涯学習に取り組みます。また、身体を動かすことを目的に、輪投大会等、スポーツレクリエーションを実施します。			
課題と方向性	趣味等の余暇の過ごし方の多様化により、年々老人クラブの加入者は減少していますが、社会参加の場として、現状維持を目標に実施していきます。一人でも多くの高齢者に参加してもらえるよう、啓発活動に努めるとともに、魅力ある老人クラブづくりを支援し、高齢者の生きがいづくりを推進します。			
指　標		実績値		
		２０１５ （Ｈ２７）	２０１６ （Ｈ２８）	２０１７ （Ｈ２９見込）
	対象者（人）	２，９９８	３，０２６	３，０２８
	加入者（人）	２５９	２３１	１９４
	加入率（%）	８．６	７．６	６．４

(3)社会活動への参加の支援

概　要	地区集会場や保育園等を利用し、伝統文化や遊びを教えたり、食事会を開催し、高齢者と若い世代の交流機会を設けます。
課題と方向性	ボランティアグループ等、社会活動団体と連携し、開催内容の充実や情報提供を行い、高齢者の社会活動への積極的な参加を支援していきます。

(4)ボランティア活動等への支援

概　要	高齢者同士による相互支援活動や美化活動を実施し、地域社会に貢献しながら高齢者が生きがいをもつことができるよう、ボランティア活動を支援します。
課題と方向性	高齢者自身のボランティア活動への参加を促すため情報提供を行うとともに、地域住民との交流を通じて福祉意識の啓発を図り、支え合いや見守り体制につながるよう、取り組んでいきます。

(5)就業等の支援(シルバー人材センター事業の推進)

概　要	シルバー人材センターの運営支援を行い、高齢者の雇用、就業の場の拡充を図ります。						
課題と方向性	シルバー人材センターの登録者数は微減傾向にありますが、元気な高齢者の能力をいかした就業機会を確保し、生きがいの充実と社会参加を促進するため、シルバー人材センターの機能強化を図ります。						
指　標		実績値			目標値		
		2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
	シルバー人材センター登録者（人）	６４	６０	６０	６５	６７	６９

第2節　健康づくり

高齢者が自立していつまでも健康に暮らせるよう、健康づくりを推進するとともに、健康への関心を持ち、自分自身の健康状態を把握できるよう、意識啓発と適切なサービスの提供に努めます。

1. 保健サービス

(1)健康手帳の交付

概　要	各種健診・保健指導等の記録、その他の健康の保持のための必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療に資することを目的に配布します。			
課題と方向性	現在、各種健診の結果は Ａ４サイズの紙ベースで返却するようになり、この結果を管理・活用できるよう健康手帳の形に限らず健康ファイル等の検討もしていきます。			
指　標		実績値		
		２０１５ （H27）	２０１６ （H28）	２０１７ （H29 見込）
	交付数（件）	６４	５５	６９

(2)集団健康教育

概　要	老人クラブや保健委員等の地区組織を対象に、生活習慣病の予防や健康管理について、集団での健康教育を行います。			
課題と方向性	参加者は高齢の方や健康に関心のある方で固定している現状です。働き盛り世代の方、健康無関心層の方にも健康についての話を聞いてもらえるよう、各種団体と連携し、集会の場に出向く等の方法も検討していきます。			
指　標		実績値		
		2015（H27）	2016（H28）	2017（H29 見込）
	実施回数（回）	１２	３３	３４
	実施人数（人）	３００	４５４	３００

(3)重点健康相談

概　要	高血圧、脂質異常症、糖尿病、歯周疾患、骨粗しょう症等、重点健康相談を実施します。			
課題と方向性	病態別の相談や指導は、要介護状態を予防していくために今後ますます重要となります。専門職種の確保や資質向上を含め、相談事業の充実に努めます。			
指　標		実績値		
		2015（H27）	2016（H28）	2017（H29 見込）
	実施回数（回）	1	1	3
	実施人数（人）	5	3	１６

(4)介護家族健康相談

概　要	「介護者のつどい」を２ヶ月に１度開催し、介護者の相談対応等を行いました。介護保険制度の広がりに伴い、個別でケアマネージャーに相談するケースが増えており、平成２９年度からは、総合相談支援事業として介護に関する悩み等について、随時相談に応じています。			
課題と方向性	来所相談や電話相談等に応じるとともに、様々な相談内容に対応できるよう、居宅介護支援事業所のケアマネージャーの資質向上や支援に努めます。			
指　標		実績値		
		2015（H27）	2016（H28）	2017（H29 見込）
	実施回数（回）	5	2	－
	実施人数（人）	６９	３０	－

(5)総合健康相談

概　要	健康相談の機会を設けるため、健康マルシェの開催や松崎町健康・医療相談ホットラインの事業を実施します。			
課題と方向性	利用者は高齢の方や健康に関心のある方で固定している現状です。一人でも多くの方の健康相談を行うことができるよう、内容の充実に努めていきます。			
指　標		実績値		
		2015（H27）	2016（H28）	2017（H29 見込）
	実施回数（回）	１２	２２	１７
	実施人数（人）	１５０	１１２	１３０

(6)特定健康診査

概　要	特定健康診査と同時に大腸がん検診や肺がん検診も行います。また、健診後には要指導と判定された方を対象に、特定保健指導を実施します。			
課題と方向性	受診率が減少傾向にあるため、健康に対する意識啓発を図ります。また、各種検診との同時実施や検査項目の充実、健診後の事後指導を行い、健診の充実に努めていきます。			
指　標		実績値		
		2015（H27）	2016（H28）	2017（H29 見込）
	対象者数（人）	２，００７	１，８９７	１，８９１
	受診者数（人）	７６２	７１４	７００
	受診率（%）	３８．０	３７．６	３７．０

(7)がん検診

概　要	胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん検診を集団検診で、子宮頚がん検診を個別又は集団で行います。 また健康マイレージ事業による自己負担金の軽減を図ります。
課題と方向性	受診率を上げるため、土日等の検診実施、乳がん・子宮頚がんの同日検診実施、健康マイレージ事業による自己負担金の軽減や賀茂管内の市町との相互乗り入れを行っていきます。

指　標		実績値		
		2015（H27）	2016（H28）	2017（H29 見込）
胃がん検診	対象者数（人）	５，０６８	５，２０１	５，１９１
	受診者数（人）	７０２	６７０	６０６
	受診率（%）	１３．９	１２．８	１１．７
子宮頚がん検診	対象者数（人）	３，００８	３，２００	３，１８５
	受診者数（人）	５７９	５７５	５７３
	受診率（%）	１９．２	１８．０	１８．０
肺がん検診	対象者数（人）	５，０６８	５，２０１	５，１９１
	受診者数（人）	１，２８６	１，２２９	１，１１０
	受診率（%）	２５．４	２３．６	２１．４
乳がん検診	対象者数（人）	２，７３９	２，８１３	２，８０９
	受診者数（人）	６３８	６４８	６４８
	受診率（%）	２３．３	２３．０	２３．１
大腸がん検診	対象者数（人）	５，０６８	５，２０１	５，１９１
	受診者数（人）	１，０５８	１，０９２	１，０３７
	受診率（%）	２０．９	２１．０	２０．０

(8)肝炎ウイルス検診(C 型肝炎･B 型肝炎)※満40歳となる者

概　要	肝炎ウイルス検診を、毎年実施しています。
課題と方向性	広報等を活用した周知活動に努め、利用を促進していきます。

指　標		実績値		
		2015（H27）	2016（H28）	2017（H29）
	対象者数（人）	６５	５２	７１
	受診者数（人）	８	５	９
	受診率（%）	１２．３	９．６	１２．７

※参考(41 歳以上となる者で過去に未受診で検診希望者の受診者数)

41 歳以上	受診者数(人)	１３	6	3

2. 健康増進

(1)訪問指導

概　要	訪問による保健指導が必要な要指導者を対象に、保健師が家庭を訪問し指導等を行い、高齢者の心身機能の向上や健康の増進を図ります。
課題と方向性	関係機関や専門職員、医療との連携を強化し、要指導者のケアに努めます。

(2)健康増進の推進

概　要	健康診査や各種検診の促進、受診後の教育・指導の充実、松崎町保健委員会の健康づくり組織活動の支援、医師会等との連携を通じ、多岐にわたって高齢者に対する健康増進に努めます。
課題と方向性	高齢者の疾病予防や早期発見・早期治療に努め、個人のニーズに合ったサービスを提供できるよう、健康増進の体制づくりを推進します。

(3)介護予防の推進

概　要	地域包括支援センターを中心に、要介護状態となるリスクの高い高齢者を把握し、要介護状態になることを予防し、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援します。
課題と方向性	高齢者の介護予防に対する意識啓発を図るとともに、機能訓練を実施する専門職員の人材育成を推進します。

3. 生活支援サービス

(1)給食サービス事業

<table>
<tr><td>概　要</td><td colspan="6">日常の食事の準備が困難な７０歳以上のひとり暮らし高齢者、もしくは概ね 70 歳以上の高齢者世帯を対象に、注文に応じて１日１食給食を配達（配達時間制限は撤廃）します。利用者はサービス利用券（６００円）を半額（３００円）で購入することができます。</td></tr>
<tr><td>課題と方向性</td><td colspan="6">一人暮し高齢者の増加により、給食サービスは増加傾向有ります。
高齢者に栄養バランスのとれた食事を提供できるほか、定期的な訪問により、利用者の安否確認ができるため、今後事業の維持継続を図り、適切なサービス提供に努めます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指　標</td><td rowspan="2"></td><td colspan="3">実績値</td><td colspan="3">目標値</td></tr>
<tr><td>2015
(H27)</td><td>2016
(H28)</td><td>2017
(H29 見込)</td><td>2018
(H30)</td><td>2019
(H31)</td><td>2020
(H32)</td></tr>
<tr><td>利用人数（人）</td><td>７４</td><td>８１</td><td>８５</td><td>９０</td><td>９０</td><td>９０</td></tr>
<tr><td>延利用食数（食）</td><td>8,088</td><td>8,319</td><td>10,347</td><td>10,500</td><td>10,500</td><td>10,500</td></tr>
</table>

(2)ひとり暮らし老人緊急通報システム

<table>
<tr><td>概　要</td><td colspan="6">ひとり暮らし高齢者、もしくは緊急時の連絡に不安のある世帯を対象に、電話機に緊急通報装置、を設置し、緊急時の連絡が消防署に入ります。ガス漏れ警報器等が作動した場合にも、消防署へ自動通報します。</td></tr>
<tr><td>課題と方向性</td><td colspan="6">高齢者の増加に伴い、単身世帯の増加も見込まれるため、民生委員との協力により、設置希望者の把握に努めていきます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指　標</td><td rowspan="2"></td><td colspan="3">実績値</td><td colspan="3">目標値</td></tr>
<tr><td>2015
(H27)</td><td>2016
(H28)</td><td>2017
(H29 見込)</td><td>2018
(H30)</td><td>2019
(H31)</td><td>2020
(H32)</td></tr>
<tr><td>設置者数（人）</td><td>3</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td></tr>
</table>

第3節　安心･安全な環境づくり

高齢者自らの選択に基づいてサービスを活用し、できる限り住み慣れた地域や家庭で自立した生活を送ることができるよう、家族等の介護者も安心して生活できるような環境整備に努めます。

1. 権利擁護の推進

(1)高齢者の虐待防止

概　要	高齢者虐待に関する相談・指導・助言のための窓口を充実させ、高齢者虐待防止に関する意識啓発を行い、また、高齢者虐待についての通報を受けた際には、相談・助言を行います。
課題と方向性	相談窓口の強化を図るとともに、高齢者の自宅や入所施設への立ち入り調査を行い、警察等の関係機関と連携し地域ぐるみでの見守り体制を整えます。

(2)認知症高齢者支援策の充実

概　要	認知症の早期発見、早期対応を行うとともに、本人の人格やそれまでの生活を尊重した質の高いケアを提供するなど、認知症に関する様々な支援を行います。
課題と方向性	認知症に対する正しい理解や知識を啓発・普及し、地域で認知症高齢者とその家族を支えることができる体制の構築をめざします。あわせて、認知症初期集中チームによる支援で、早期に必要な医療や介護サービスにつなげる体制を目指します。

(3)成年後見制度利用支援事業

概　要	成年後見制度について啓発活動を行い、成年後見制度の申し立てに関する支援や、経費、後見人等の報酬の助成を行います。
課題と方向性	制度についての啓発活動に努めていきます。

2. 安全対策の推進

(1)交通安全推進

<table>
<tr><td>概　要</td><td colspan="4">高齢者が交通事故の加害者にも被害者にもならないよう、交通安全の教育や意識啓発を推進します。</td></tr>
<tr><td>課題と方向性</td><td colspan="4">関係機関との連携を強化し、交通安全の意識啓発を図るとともに、歩道や信号機、カーブミラー等の施設整備に取り組んでいきます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指　標</td><td rowspan="2"></td><td colspan="3">実績値</td></tr>
<tr><td>2015（H27）</td><td>2016（H28）</td><td>2017（H29）</td></tr>
<tr><td>高齢者の交通事故件数（件）</td><td>7</td><td>１１</td><td>6</td></tr>
<tr><td>高齢者の交通事故割合（%）</td><td>３１．８</td><td>４４．０</td><td>３０．０</td></tr>
</table>

(2)防犯対策の推進

概　要	高齢者が高齢者が詐欺や悪質商法といった犯罪に巻き込まれないよう、賀茂広域消費生活センターと協力して防犯対策を推進します。
課題と方向性	高齢者一人ひとりの意識啓発に努め、相談・援助体制の充実を図ります。

(3)防災対策の推進

概　要	災害時に、自分や家族等の支援が困難で、何らかの助けを必要とする高齢者や重度の障害者など「避難行動要支援者」の安否確認や避難支援を円滑に行えるよう、地域の中で支援体制の構築を図ります。
課題と方向性	平成２９年度から「避難行動要支援者名簿」の作成を始めており、名簿情報を提供することに同意を得た方については、民生委員や地域の自主防災会等の地域の避難支援関係者と名簿情報を共有することで、避難誘導や情報伝達支援等の活動が円滑にできるよう、地域の「共助」による避難支援体制づくりに努めていきます。

(4)ユニバーサルデザインのまちづくり

概　要	高齢や障害にかかわらず、誰もが移動しやすく、利用しやすいまちづくりを推進します。
課題と方向性	現在、実施している移動・交通サービスの周知に努め、バスやタクシー等の公共交通機関が誰もが利用しやすい機関となるよう、関係機関と協力していきます。また、順天堂大学附属静岡病院への直行バスを運行させるなど通院の利便性向上にも努めていきます。

第2章　介護保険対象サービスの整備

第1節　　地域支援事業

地域支援事業は、高齢者が要支援・要介護状態になることを予防するとともに、要支援・要介護状態になった場合においても、住み慣れた地域で自立した日常生活を送れるよう支援することを目的としています。

1. 地域支援事業の種類

地域支援事業は、介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業、任意事業の３種類に大きく区分されます。

<table>
<tr><th colspan="2">区分</th><th>事業名</th><th>事業内容</th></tr>
<tr><td rowspan="8">地域支援事業</td><td rowspan="2">介護予防・日常生活支援総合事業</td><td>介護予防・生活支援サービス事業</td><td>○　訪問型サービス
○　通所型サービス
○　介護予防支援事業（ケアマネジメント）</td></tr>
<tr><td>一般介護予防事業</td><td>○　介護予防普及啓発事業
○　地域介護予防活動支援事業
○　地域リハビリテーション活動支援事業</td></tr>
<tr><td rowspan="4">包括的支援事業</td><td>地域包括支援センターの運営</td><td>○　介護予防ケアマネジメント
○　総合相談支援事業
○　権利擁護業務
○　ケアマネジメント支援
○　地域ケア会議の充実</td></tr>
<tr><td>在宅医療・介護連携の推進事業</td><td>○　在宅医療・介護連携推進事業</td></tr>
<tr><td>認知症総合支援事業</td><td>○　認知症施策の推進</td></tr>
<tr><td>生活支援体制整備事業</td><td>○　コーディネーターの配置、協議体の設置等</td></tr>
<tr><td>任意事業</td><td>その他</td><td>○　家族介護支援事業
○　福祉用具・住宅改修利用促進事業
○　成年後見制度利用支援事業
○　介護給付適正化事業</td></tr>
</table>

2. 地域支援事業の実績と今後の見込み

(1)介護予防･日常生活支援総合事業

①介護予防･生活支援サービス事業

概　要	２０１７（平成２９）年４月から従来の介護予防訪問介護及び介護予防通所介護、介護予防支援を介護予防・生活支援サービス事業として実施しています。地域包括支援センターが行う基本チェックリストの結果により、当該事業の支援が必要と判定された方を対象に、それぞれのニーズに対応した多様なサービスを実施し、介護予防と生活支援を推進しています。						
課題と方向性	その人に合った介護予防や高齢者の自立支援を進めるためには、事業の普及促進に努めるとともに多様なニーズを把握する必要があり、定期的な情報の共有や連携強化の場として生活支援体制整備事業協議体を設置し、今後は地域の実情に見合ったサービスを検討しながら、新たな事業の創出に努めていきます。						
指　標		実績値			目標値		
		2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
	訪問型サービス (件/年)	－	－	１８９	４２０	４２０	４２０
	通所型サービス (件/年)	－	－	７９	１８０	１８０	１８０
	介護予防支援事業 (件/年)	－	－	１７０	３２４	３２４	３２４

②一般介護予防事業

概　要	住民運営の通いの場の充実など、人と人のつながりを通じて継続的に拡大していくような地域づくりの推進や、リハビリテーション専門職等を活かした自立支援に資する取組を推進し、生きがいや役割を持って生活できる地域の実現を目指します。						
課題と方向性	地域での健康づくりを行う運動指導者やリハビリの専門職等を確保していきます。地域の身近な公民館などでの健康づくりに取り組めるよう支援します。						
指　標		実績値			目標値		
		2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
	いきいき貯筋倶楽部 （運動機能向上） 上段：回数 下段：延人数	１２ ２３３	１１ ２５７	１２ ２５０	１２ ２６０	１２ ２６０	１２ ２６０
	はつらつ元気倶楽部 （認知症予防、閉じこもり防止） 上段：回数 下段：延人数	２４ ３６３	２４ ３８６	２４ ３６０	２４ ３８０	２４ ３８０	２４ ３８０
	吹矢教室 上段：回数 下段：延人数	９ １２２	８ １２２	８ １２２	８ １３０	８ １３０	８ １３０
	健康力アップ講座 上段：回数 下段：延人数	９ １０７	２０ ２３０	２１ ２４０	２２ ２５０	２２ ２５０	２２ ２５０
	健康体操サポーター関連講座 上段：回数 下段：延人数	４ ４９	２ ３６	４ ６０	２ ４０	２ ４０	４ ６０

(2)包括的支援事業

①地域包括支援センターの運営

概　要	介護予防ケアマネジメントや総合相談支援業務に加え、関係者が集まって高齢者に必要な支援を検討する地域ケア個別会議や、地域課題を話し合う地域ケア推進会議などの充実を目指します。
課題と方向性	ケアプラン作成は、介護支援事業者に一部委託しますが、事業所との連携を強化し、適切なサービス提供に努めます。地域ケア個別会議の積み重ねや地域包括支援センターの専門職確保に取り組みます。

指　標		実績値			目標値		
		2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
	地域ケア個別会議	1	1	2	2	4	4
	地域ケア推進会議	－	－	－	1	1	1

②在宅医療･介護連携の推進事業

概　要	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療と介護の関係機関が連携して在宅医療と介護を一体的に提供できる体制づくりを賀茂地区１市５町と共同して事業を推進します。
課題と方向性	本事業は、一部事務組合下田メディカルセンターへ委託し、賀茂地区３ブロックごとに設置されたブロック会議による課題抽出及び対応策の検討、医療・介護関係者を対象とした多職種連携の研修を行います。また、地域住民への普及啓発を目的とした講習会の開催、相談支援センター設置による関係機関からの連携に関する相談対応等を行い、医療・介護で連携の取れた一体的なサービスの提供を図ります。

③認知症総合支援事業

概　要	認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように、関係機関と調整しながら認知症施策を推進します。
課題と方向性	認知症サポーター養成講座の開催や、２０１８（平成３０）年度から設置する認知症初期集中支援チームによる支援、認知症地域支援推進員の活動の充実を図ります。

④生活支援体制整備事業

概　要	生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、高齢者の生活支援等サービス体制整備を推進します。定期的な情報共有や連携強化の場として協議体を設置します。
課題と方向性	今ある地域の資源を見直し、住民を含めた関係者で検討、地域に見合ったサービスの検討、創出を行います。

(3)任意事業

①家族介護支援事業

概　要	おむつ等の介護用品購入費の助成を行うことで、介護による家族の経済的な負担を軽減します。
課題と方向性	介護認定通知に合わせて、対象者への通知を行います。ケアマネージャー等の介護関係者にも制度を周知します。

②福祉用具･住宅改修利用促進事業

概　要	福祉用具・住宅改修に関する相談・情報提供等を行います。
課題と方向性	福祉用具や住宅改修プランの相談やアドバイスを行い、工事内容や金額等の適正化に努めていきます。

③成年後見制度利用支援事業

概　要	松崎町社会福祉協議会と連携をし、成年後見制度についての啓発活動を行うとともに、成年後見制度の申し立てに関する支援や、経費、後見人等の報酬の助成を行います。
課題と方向性	今後も松崎町社会福祉協議会と連携を図りながら、本制度についての啓発活動に努めていきます。

④介護給付適正化事業

概　要	介護認定に係る訪問調査の内容やケアプラン等の点検の実施や、国民健康保険団体連合会と連携した縦覧点検等を行い、介護給付適正化を図ります。
課題と方向性	訪問調査内容やケアプラン点検等を行うことで、適切な介護認定、過不足のないサービスの提供、国保連との連携による縦覧点検、医療情報との突合の実施による介護給付費の適正な利用等、介護給付適正化計画による事業を実施していきます。

第2節　介護保険サービス

1. 居宅サービス

(1)訪問介護・介護予防訪問介護(ホームヘルプサービス)

サービス内容	居宅で自立した日常生活が送れるよう、訪問介護員が居宅を訪問して入浴や排泄、食事等の介護や生活援助を行うサービスです。					
今後の方向性	援助が必要な方は継続して存在し、実績はほぼ横ばいです。平成２９年４月から総合事業の開始に伴い、予防は順次総合事業へ移行します。今後も訪問介護員の確保や資質の向上を図るよう事業所に求めていくとともに、介護関係職員の待遇面の改善について側面から支援します。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	１，２９２	１，２１２	１，２１４	１，２４８	１，２８０	１，３００
予防（件／年）	４５５	４０３	１７７			

(2)訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

サービス内容	要介護者等の自宅に入浴車等で訪問し、浴槽を持ち込んで入浴の援助を行い、身体の清潔保持や心身機能の維持を図るサービスです。					
今後の方向性	介護する家族の高齢化など在宅での入浴が困難なケースが増えると利用者の増加も見込まれますが、町内に事業所がないため、今後の状況によっては新規事業所の参入も視野に入れる必要があります。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	１８６	１８７	１６４	１７５	１９６	２１７
予防（件／年）	１５	５	０	１２	１２	１２

(3)訪問看護･介護予防訪問看護

サービス内容	看護師、理学療法士、作業療法士等が主治医の指示により要介護者等の自宅を訪問し、必要な診療の補助等を行うサービスです。					
今後の方向性	町内には事業所がなく、町外の訪問看護ステーションに頼っている状況です。今後、在宅医療・介護の連携の強化が求められる中、有資格者の確保を側面から支援し、利用促進を図ります。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	１４７	１５０	１９８	２０９	２２８	２４７
予防（件／年）	１	０	８	１２	１８	２４

(4)訪問リハビリテーション･介護予防訪問リハビリテーション

サービス内容	理学療法士や作業療法士が、要介護者等の自宅を訪問して理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーションを行うサービスです。					
今後の方向性	町内には事業所がなく、町外の事業所に頼っている状況です。介護状態の悪化を防ぐ重要手段として位置付け、近隣市町と連携しながら有資格者の確保を側面から支援し、利用促進を図ります。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	８７	１２５	１８９	２００	２２０	２４０
予防（件／年）	３９	４９	７６	４２	４６	５０

(5)居宅療養管理指導･介護予防居宅療養管理指導

サービス内容	医師、歯科医師、薬剤師が要介護者等の居宅を訪問し、療養上の管理や指導を行うサービスです。					
今後の方向性	在宅での療養生活に不安や問題のある高齢者も多く、薬剤師等による指導など重要となっています。医師会や薬剤師会等に協力を求めながら、適切なサービス提供に努めます。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	６６９	９１６	９８８	１，０８０	１，２６９	１，２６９
予防（件／年）	７６	７５	６７	７６	１０２	１０２

(6)通所介護・介護予防通所介護(デイサービス)

サービス内容	利用者がデイサービスセンター等に通い、入浴、排泄、食事等の介護、日常生活の世話や機能訓練を受けるサービスです。					
今後の方向性	日中独居で人と交流が少ないなど、通所介護による援助が必要な方は継続して存在しています。平成２８年４月から小規模事業所は地域密着型通所介護へ移行しています。平成２９年４月から総合事業の開始に伴い、予防は順次総合事業へ移行します。身体機能の維持や改善が図れるよう工夫を凝らしたサービスの提供をするよう働きかけていきます。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	１，９０１	１，５３１	１，４７２	１，５８４	１，６２０	１，７０４
予防（件／年）	２９８	３１１	１２６			

(7)通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

サービス内容	利用者が介護老人保健施設に通い、理学療法、作業療法、その他必要なリハビリテーションを受けるサービスです。					
今後の方向性	町内には事業所がなく、町外の老人保健施設で対応しています。状態の悪化を防いだり、身体機能を維持するための重要なサービスとして質の向上と定員の確保を働きかけます。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	２７７	２４６	３０８	２８８	３００	３１２
予防（件／年）	２６	３６	４５	４８	５２	５６

(8)短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護(ショートステイ)

サービス内容	介護老人福祉施設等に要介護者等が短期入所し、入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活上の世話や機能訓練を受けるサービスです。					
今後の方向性	町内には事業所が１か所しかなく、町外の事業所に頼っている状況です。在宅で一人で過ごすのが不安な場合や介護負担の軽減などのため、実績はやや増加傾向です。短期入所施設に余裕があれば自宅介護もしやすくなるので、近隣市町の状況を考慮しながら、既設施設の増床についての働きかけや、新規参入を希望する事業所があった場合、検討していきます。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	７４２	７６０	７５５	８１２	８７７	９４２
予防（件／年）	１１	１７	１７	２４	２４	２４

(9)短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護(ショートケア)

サービス内容	介護老人保健施設、介護療養型医療施設に要介護者等が短期入所し、看護、医学的管理下における機能訓練、その他必要な医療及び日常生活上の世話を受けるサービスです。					
今後の方向性	町内には事業所がなく、町外の事業所に頼っている状況で、やや増加傾向です。短期入所生活介護と同様、検討する必要があります。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	１１９	１３３	１７１	１９５	２１０	２２５
予防（件／年）	5	1	2	6	6	6

(10)特定施設入居者生活介護･介護予防特定施設入居者生活介護

サービス内容	指定を受けた有料老人ホーム、介護利用型軽費老人ホームやケアハウス等に入所している要介護者等について、入浴、排泄、食事等の介護、その他日常生活上の世話、機能訓練及び療養上の世話を行うサービスです。					
今後の方向性	現在、町内に施設はありませんが、継続した利用があり、実績は増加傾向です。サービスの相談等があった場合は、その他の介護保険サービスも含めて情報提供等、随時対応していきます。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	７７	８７	１２２	１２６	１４４	１５８
予防（件／年）	４０	１９	２３	２８	２９	２９

(11)福祉用具貸与･介護予防福祉用具貸与

サービス内容	車いすや特殊寝台などの福祉用具の貸し出しを行うサービスです。					
今後の方向性	制度の定着により、福祉用具の利用を目的とした介護申請もあり、利用者はやや増加傾向です。自立の支援につながるよう、状況に適した用具を貸与できるように利用者やケアマネージャーへの支援を行います。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	１，９１７	２，２０３	２，１５５	２，４２９	２，４５０	２，４５０
予防（件／年）	３２５	２６０	２５７	３１２	３１２	３１２

(12)特定福祉用具販売･特定介護予防福祉用具販売

サービス内容	利用者の自立支援や介護者の負担軽減を図ることを目的として、同一年度内に１０万円を限度に腰かけ便座や入浴補助用具などの特定福祉用具を購入した場合、費用の一部が支給されるサービスです。					
今後の方向性	多少の変動はありますが、実績はほぼ横ばいです。必要性を十分精査するとともに、適切なアドバイスができるよう努めていきます。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	４８	２９	３０	３６	３６	３６
予防（件／年）	８	１０	５	１２	１２	１２

(13)住宅改修･介護予防住宅改修

サービス内容	手すりの取り付け、段差の解消等を行うことで、要介護者等の日常生活動作に適応した環境を整備するためのサービスです。１人２０万円を限度に費用の一部を支給します。					
今後の方向性	多少の変動はありますが、実績はほぼ横ばいです。町単独の住宅改修補助制度もあるため、両制度を効果的に利用できるよう調整をしていきます。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	３２	２１	２０	２４	２４	２４
予防（件／年）	６	８	６	６	６	６

(14)居宅介護支援･介護予防居宅介護支援

サービス内容	利用者が居宅でなるべく自立した生活を送れるよう、利用者の心身の状況、置かれている環境、意向等を勘案して居宅サービス計画（ケアプラン）を作成するサービスです。					
今後の方向性	認定者数の増加に伴い、実績はやや増加傾向です。平成２９年４月からの総合事業の開始に伴い、予防は一部介護予防ケアマネジメントへ移行します。高度の知識、経験があるケアマネジャーの人材確保と指導に努めます。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	３，１５９	３，２３２	３，３４４	３，５２８	３，５４０	３，５５２
予防（件／年）	８７６	８２５	５４０	８７６	８７６	８７６

2. 地域密着型サービス

(1)認知症対応型通所介護･介護予防認知症対応型通所介護

サービス内容	脳血管疾患、アルツハイマー病、その他の要因に基づく脳の器質的な変化により日常生活に支障が生じる程度までの記憶機能、及びその他の認知機能が低下した状態である方を対象に、デイサービスセンター等において、入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うサービスです。					
今後の方向性	実績は横ばいですが、高齢化に伴い認知症の増加は予想され、今後も継続したサービスが必要です。必要に応じて既存施設の対応能力を拡大するよう調整していきます。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（回／年）	２，７６５	２，５３０	２，３５５	２，５４８	２，６３９	２，７７０
予防（回／年）	－	－	－	－	－	－

(2)小規模多機能型居宅介護･介護予防小規模多機能型居宅介護

サービス内容	通所を中心に、利用者の選択に応じて訪問や泊まりのサービスを組み合わせて提供します。
今後の方向性	第７期計画期間において必要量は見込んでいませんが、今後、要介護者等の増加状況により検討すべきと考えています。

(3)認知症対応型共同生活介護･介護予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

サービス内容	認知症の人がスタッフから介護を受けながら共同生活をするサービスです。					
今後の方向性	町内にはグループホームがなく、近隣の市町の施設に入所している状況となっていますが、新たな施設整備の予定はありません。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	７４	１１７	９０	９２	１０４	１１６
予防（件／年）	0	0	0	0	0	0

(4)定期巡回･随時対応型訪問介護看護

サービス内容	日中と夜間を通じた複数回の定期訪問と随時の対応で、介護と看護を一体的に提供します。
今後の方向性	平成２４年度から創設されたサービスとなっていますが、第７期計画期間において必要量は見込んでいません。

(5)夜間対応型訪問介護

サービス内容	２４時間安心して在宅生活が送れるよう、巡回や通報システムによる夜間専用の訪問介護です。
今後の方向性	現状でのサービス利用がないため、第７期計画期間において必要量は見込んでいません。当面の間は、ホームヘルプ（深夜・早朝加算）等で対応していくこととなります。

(6)地域密着型特定施設入居者生活介護

サービス内容	定員が２９人以下の小規模な介護専用型特定施設に入居する人のための介護サービスです。
今後の方向性	現状でのサービス利用がないため、第７期計画期間において必要量は見込んでいません。

(7)地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

サービス内容	定員が２９人以下の小規模な介護老人福祉施設に入所する人のための介護サービスです。
今後の方向性	第７期計画期間においては施設整備の予定はありません。

(8)看護小規模多機能型居宅介護

サービス内容	小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせて提供するサービスを柔軟に提供します。
今後の方向性	平成２４年度から創設されたサービスとなっていますが、第７期計画期間において必要量は見込んでいません。

(9)地域密着型通所介護

サービス内容	定員が１８人以下の小規模な通所介護です。					
今後の方向性	平成２８年４月から小規模事業所の通所介護が地域密着型サービスに移行しました。日中独居で人と交流が少ないなどの援助が必要な方が利用しており、今後も継続して利用が見込まれます。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	－	５８４	７００	８２１	８８５	８８５

3. 施設サービス

(1)介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

サービス内容	日常生活で常時介護が必要で、在宅では適切な介護が困難な方を対象に、特別養護老人ホームに入所し、日常生活上の世話や機能訓練、健康管理、療養上の世話などを行うサービスです。					
今後の方向性	高齢者保健福祉圏域内での整備量や配置を考慮し、長期において不足が生ずる場合は既存施設の増床について働きかけます。また、南伊豆町に建設予定の杉並区特養についても１名程度の利用を見込みます。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	６５１	６５４	６３４	６６０	６７２	６７２

(2)介護老人保健施設

サービス内容	病状が安定し、入院治療が必要でなくなった高齢者が自宅に戻ることができるよう、看護、医学的管理下における介護、及び機能訓練や日常生活上の世話を受けるサービスです。					
今後の方向性	高齢者保健福祉圏域内の整備量や配置を考慮し、長期において不足が生ずる場合は既存施設の増床について働きかけることになります。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	３１９	２８８	３３３	３３６	３３６	３３６

(3)介護療養型医療施設

サービス内容	急性期の治療が終わり、病状が安定期にあるものの家庭での生活に支障があり、長期間の療養や介護を必要とする高齢者を対象に、日常生活を営むことができるよう、療養上の管理や看護、医学的管理の下における介護、機能訓練及び医療を受けるサービスです。					
今後の方向性	平成２９年度当初は３名の方が町外施設に入所していましたが、現在は１名退所しているため、計画では２名の利用を見込みます。					
実施状況と見込み	第６期計画（実績）			第７期計画（見込み）		
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29 見込)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
介護（件／年）	４４	４１	２９	２４	２４	２４

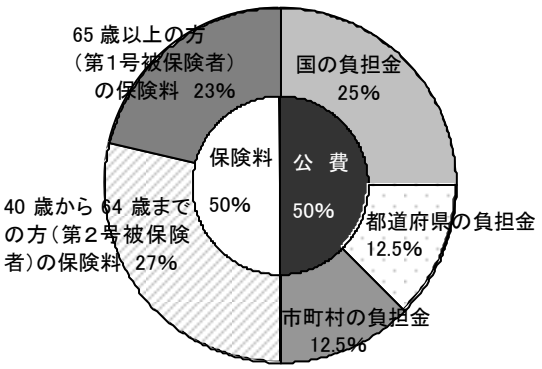
第3節　介護保険事業費の算定

1. 介護保険財源の仕組み

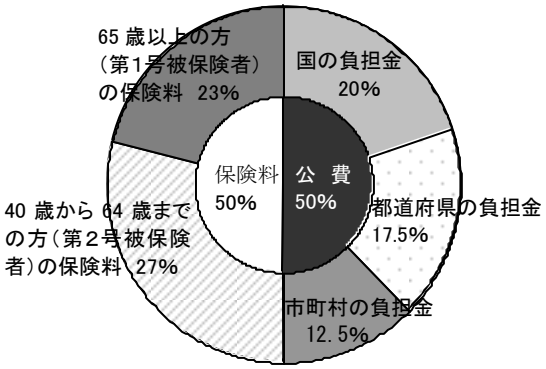
介護給付費の財源については、利用者の負担額を除いた介護給付にかかる費用（給付費）の 50%を公費、残り 50%を保険料で賄うこととなっており、第１号被保険者は給付費の２３%を負担することになります。

【介護給付費の負担割合】

居宅給付費



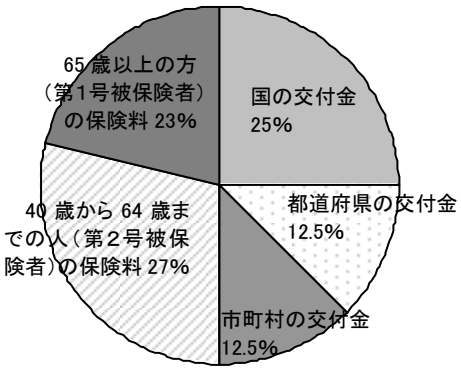
施設等給付費



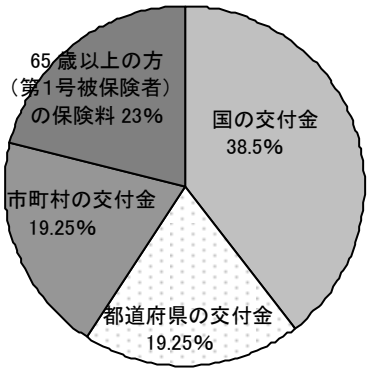
地域支援事業の介護予防事業費については、介護給付費の財源構成と同じとなっていますが、包括的支援事業、任意事業の財源構成は、第１号被保険者の保険料（２３%）と公費（７７%）で負担します。

【地域支援事業費の負担割合】

介護予防事業費



包括的支援事業費・任意事業費



2. 給付費の推計

(1)予防給付費の推計

要支援１、２の人に対する予防給付として、「介護予防サービス」「地域密着型介護予防サービス」等の給付費を試算すると、次のようになります。

単位：千円

サービスの種類	２０１８ （Ｈ３０）	２０１９ （Ｈ３１）	２０２０ （Ｈ３２）
介護予防サービス			
介護予防訪問介護			
介護予防訪問入浴介護	３００	３００	３００
介護予防訪問看護	３００	４５０	６００
介護予防訪問リハビリテーション	１，３００	１，４００	１，５００
介護予防居宅療養管理指導	４５０	６００	６００
介護予防通所介護			
介護予防通所リハビリテーション	１，２００	１，３００	１，４００
介護予防短期入所生活介護	４００	４００	４００
介護予防短期入所療養介護	１００	１００	１００
介護予防特定施設入居者生活介護	１，９００	２，０００	２，０００
介護予防福祉用具貸与	２，５００	２，５００	２，５００
特定介護予防福祉用具販売	２５０	２５０	２５０
地域密着型介護予防サービス			
介護予防認知症対応型通所介護	０	０	０
介護予防小規模多機能型居宅介護	０	０	０
介護予防認知症対応型共同生活介護	０	０	０
住宅改修	７００	７００	７００
介護予防支援	２，８００	２，９００	２，９００
合　計　【予防給付費】	１２，２００	１２，９００	１３，２５０

(2)介護給付費の推計

要介護１～５の人に対する介護給付として「居宅介護サービス」「地域密着型サービス」「施設サービス」等の給付費を試算すると、次のようになります。

単位：千円

サービスの種類	２０１８（Ｈ３０）	２０１９（Ｈ３１）	２０２０（Ｈ３２）
居宅介護サービス			
訪問介護	６３，０００	６４，０００	６５，０００
訪問入浴介護	１０，０００	１１，２００	１２，４００
訪問看護	１１，０００	１２，０００	１３，０００
訪問リハビリテーション	５，０００	５，５００	６，０００
居宅療養管理指導	６，０００	７，０００	７，０００
通所介護	１４０，０００	１４５，０００	１５０，０００
通所リハビリテーション	２４，０００	２５，０００	２６，０００
短期入所生活介護	６３，０００	６８，０００	７３，０００
短期入所療養介護	１３，０００	１４，０００	１５，０００
特定施設入居者生活介護	１８，０００	２０，５００	２２，５００
福祉用具貸与	３４，７００	３５，０００	３５，０００
特定福祉用具販売	１，１００	１，１００	１，１００
地域密着型サービス			
定期巡回･随時対応型訪問介護看護	０	０	０
夜間対応型訪問介護	０	０	０
認知症対応型通所介護	２８，０００	２９，０００	３０，０００
小規模多機能型居宅介護	０	０	０
認知症対応型共同生活介護	２３，０００	２６，０００	２９，０００
地域密着型特定施設入居者生活介護	０	０	０
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	０	０	０
複合型サービス	０	０	０
地域密着型通所介護	６９，６００	７５，０００	７５，０００
住宅改修	２，７００	２，７００	２，７００
居宅介護支援	５０，５００	５０，６００	５０，７００
施設サービス			
介護老人福祉施設	１５３，０００	１５８，０００	１５８，０００
介護老人保健施設	８８，０００	８８，０００	８８，０００
介護療養型医療施設	１２，０００	１２，０００	１２，０００
合　計　【介護給付費】	８１５，６００	８４９，６００	８７１，４００

3. 介護保険料の算出

(1)標準給付費の推計

介護給付費及び予防給付費の合計に、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス費等給付額、審査支払手数料をあわせた標準給付費を試算すると、次のようになります。

単位：千円

	２０１８ （Ｈ３０）	２０１９ （Ｈ３１）	２０２０ （Ｈ３２）	合 計
総給付費 【予防給付費＋介護給付費】	８２７，８００	８６２，５００	８８４，６５０	２，５７４，９５０
特定入所者介護サービス	３０，０１２	３０，０１２	３０，０１２	９０，０３６
高額介護サービス費	１５，６５０	１５，６５０	１５，６５０	４６，９５０
高額医療合算介護サービス費等給付額	２，４５０	２，４５０	２，４５０	７，３５０
審査支払手数料	６９０	６９０	６９０	２，０７０
合計 【標準給付費】	８７６，６０２	９１１，３０２	９３３，４５２	２，７２１，３５６

(2)地域支援事業費の推計

地域支援事業費を試算すると、次のようになります。

単位：千円

	２０１８ （Ｈ３０）	２０１９ （Ｈ３１）	２０２０ （Ｈ３２）	計
地域支援事業費	３８，２５４	３８，２５４	３８，２５４	１１４，７６２

4. 介護保険料の設定

(1)第1号被保険者の保険料額の算出

第１号被保険者と第２号被保険者の保険料負担割合は、全国ベースでの被保険者の比率に基づいて政令で定められ、２０１８（平成３０）年度からの第７期事業計画期間においては、第１号被保険者が２３％、第２号被保険者は２７％となります。

標準給付費＋地域支援事業費合計見込額（2018年度～2020年度）

２，８３６，１１８，０００円

（うち２３％）

第１号被保険者負担分相当額（2018年度～2020年度）

６５２，３０７，１４０円

第１号被保険者負担分相当額	**６５２，３０７，１４０円**
調整交付金見込額	**－２１２，９３７，０００円**
調整交付金相当額	**＋１３８，９５９，２００円**
積立金取崩し額	**－　５２，７７９，０００円**

保険料収納必要額　**５２５，５５０，３４０円**

保険料収納必要額

５２５，５５０，３４０円（収納率９７％で補正）＝５４１，８０４，４７４円

÷

所得段階別加入割合補正後第１号被保険者数

（2018年度～2020年度までの被保険者数）

８，６５３人

≒ **年間　６２，６１４円**

÷１２（標準月額　５，２００円）

(2)第1号被保険者の所得段階別割合

第７期計画においては、低所得者の負担軽減を図るため、９段階の所得段階区分を設定します。

所得段階	対象者	割合	保険料 (月額)
第１段階	・生活保護受給者 ・世帯全員が住民税非課税の老齢福祉年金受給者 ・世帯全員が住民税非課税 かつ本人年金収入等 80 万円以下	0.45	2,340円
第２段階	世帯全員が住民税非課税 かつ本人年金収入等 80 万円超 120 万円以下	0.75	3,900円
第３段階	世帯全員が住民税非課税 かつ本人年金収入等 120 万円超	0.75	3,900円
第４段階	本人が住民税非課税（世帯に課税者がいる） かつ本人年金収入等 80 万円以下	0.90	4,680円
第５段階	本人が住民税非課税（世帯に課税者がいる） かつ本人年金収入等 80 万円超	1.00 (基準額)	5,200円
第６段階	本人が住民税課税 かつ合計所得金額 120 万円未満	1.20	6,240円
第７段階	本人が住民税課税 かつ合計所得金額 120 万円以上 200 万円未満	1.30	6,760円
第８段階	本人が住民税課税 かつ合計所得金額 200 万円以上 300 万円未満	1.50	7,800円
第９段階	本人が住民税課税 かつ合計所得金額 300 万円以上	1.70	8,840円

第3章　計画の円滑な推進

第1節　　情報提供･相談体制の充実

1. 介護保険やサービス等に関する情報提供

広報まつざきや社協だより等の機関紙の定期的な発行、パンフレットやインターネット等の活用により、サービス事業者に関する情報やサービスの利用・契約に役立つ知識等を利用者に継続的に提供するとともに、利用者や介護者相互間の情報交換の機会づくりを整備します。

また、民生委員や保健師等の訪問時、役場や地域包括支援センター等の相談窓口等、多様な手段を通じ情報提供に努めます。

2. 相談援助体制の充実

増大する保健福祉サービスの需要に対して、随時相談に応じることができるよう、相談窓口の充実を図るとともに、相談に加え、保健福祉サービスに関する情報発信に努めます。

また、担当職員が不在の場合に相談に応ずることができるよう、関係職員の資質向上を目的とした研修機会を設け、相談体制を充実します。

第2節　　福祉のコミュニティづくり

1. 地域リハビリテーションの推進

高齢者や障害者及びその家族が住み慣れた地域で生活が送れるよう、保健・医療・福祉等が連携することにより、一貫したリハビリテーションの推進を図り、地域全体で高齢者等の生活を支えます。保健福祉団体や地域組織、ボランティア等との連携を強化し、高齢者を地域全体で支えていくシステムづくりに努めます。

2. 介護人材の確保及び資質の向上

高齢化が進む当町にとって、介護を担う人材不足が課題となっています。このため、将来にわたって介護人材が確保され、介護サービスが安定して提供されるよう、介護事業所等と連携を図り、人材の確保や育成支援を推進します。

具体的には、在宅医療・介護連携に係る介護職員研修や認知症サポーター養成講座の開催、ケアマネへの支援などによる資質の向上や人材確保を図るとともに、児童や生徒による介護ボランティアの参加を促し、介護事業所の見学と合わせて介護事業への関心を高める取り組みを推進します。また、社会福祉協議会が行っている地域支え合い（ハート＆ヘルプ）事業に対しても積極的に支援してまいります。

第3節　関係団体の連携

在宅福祉推進の中心となる社会福祉協議会との連携を強化していく中で、福祉サービスの充実を推進し、ボランティアグループ等福祉活動を行う団体を支援します。

また、地域包括ケアシステムのより一層の充実を目指し、医療機関との連携を強化し、定期的な情報交換に努めます。保健・福祉サービスの提供にあたっては、医療機関や民間サービス事業者等とも連携を強化し、退院後の在宅における各種サービスが迅速、的確に受けられるよう努めるとともに、支援を必要とする高齢者のニーズ把握や情報交換、保健・福祉サービス等の調整を図るため、定期的に連絡・調整を行います。

資料編

1. 策定の経過

月　日	項　目	主な内容
平成29年11月22日	第１回地域福祉検討協議会	・松崎町の介護保険の状況 ・事業計画の策定
平成30年1月31日	第２回地域福祉検討協議会	・素案の検討
平成30年2月26日	第３回地域福祉検討協議会	・素案の検討

2. 委員会名簿

N0	役　　職	氏　名
1	町議会議員代表	伴　高志
2	医師代表（中江医院）	中江　順
3	社会福祉協議会会長	堀谷　八千代
4	民生・児童委員協議会会長	平野　昭文
5	区長会代表	新田　博之
6	老人クラブ連合会会長	加賀　良雄
7	福祉施設代表（デイサービスセンター松崎）	山地　誠
8	校長会代表（松中）	松本　文貴
9	聖和保育園園長	宮本　さなえ
１０	手をつなぐ育成会代表	山本　政弘
１１	賀茂健康福祉センター所長	大村　新治
１２	松崎町役場　総務課長	髙木　和彦
１３	松崎町役場　教育委員会事務局長	山本　公

平成３０年２月現在